

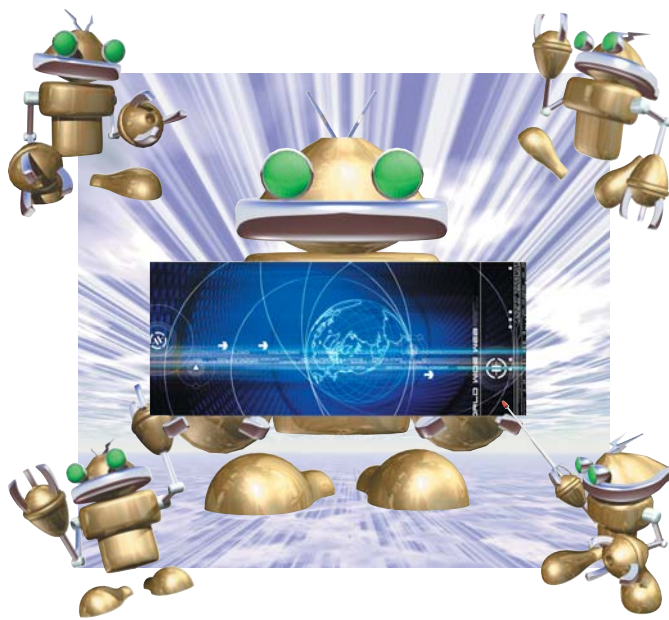
生活で身近になった人工知能やロボットたち

今、中国で話題の「シャオアイス」をご存知ですか。シャオアイスとは、マイクロソフト社が開発した人工知能のおしゃべりロボットアプリです。

今年3月時点で、約4000万人のWECHAT利用者がシャオアイスとつながり、会話を楽しんでいるようです。シャオアイスは、その一人一人との会話履歴を記憶している上、利用者の言葉に対して、臨機応変な返答をするほか、状況によっては慰めたり励ましたりもしてくれるようです。決まりきった返答ではなく、友達や恋人のように感情的なつながりを感じることができて、気軽に利用できるのも、シャオアイスは瞬く間に人気となりました。驚くことに、中国では一人っ子政策によって、女性より男性が多いこともあり、恋人や結婚相手を求める男性が、シャオアイスに対して恋愛感情を抱くこともあるようです。

一方、北京郊外の竜泉寺というお寺は、人工知能を搭載した僧侶ロボットで布教活動をしていることで話題となっています。

急速な経済成長と激しい競争社会の中で、心の安らぎを求めてこの寺に出家してくる若者が増えています。若者に対して布教活動をする際に、アニメやネットを活用しながら、もっと気軽に身近に仏教に触れてもらえるようにと考えて、僧侶ロボットを開発したそうです。僧侶ロボットは、お経を読むだけでなく、話し相手にもなってくれるということで、テレビやネットのニュースでも度々取り上げられました。



このように、中国でも生活の中にもロボットや人工知能技術を身近に感じるようになった背景には、中国政府によるロボット産業育成や人工知能研究の重点政策があります。

中国政府は、昨年から今年にかけて、各種産業とインターネット技術の融合を推進する「インターネットプラス」政策や「ロボット産業五ヵ年計画」を発表しました。そこで、製造業における自動化の発展につながっているのはもちろんのこと、一般市民の生活においても、上述のシャオアイスや僧侶ロボットだけでなく、スマート家電や自動運転技術など、ロボットや人工知能サービスを取り入れた製品やサービスに触れる機会が多くなっています。

興味深いのは、ロボットや人工知能技術によって、技術革新や利便性の向上を目指しているだけでなく、人間との感情レベルの交流ができる技術開発が急速に進んでいることです。つまり、ロボットや人工知能の需要は、経済や社会における技術的な需要に留まっていま

せん。人と人との交流が希薄になりつつある現代の社会生活においては、新たな「パートナー」としてのニーズも生まれています。

(協)広島総合卸センター 囑託
(前上海事務所 所長)
蔡 徳 栄

~ひとりひとりの可能性を広げたい~ 卸センター・もみのき保育園

(082) 961-5770



第一回運動会を開催しました!

入園につきまは、園に直接お問い合わせください

備えあれば
憂いなし!

総合火災共済は

大切な事業所やご自宅の火災はもちろん、落雷や風災等の



自然災害

からもお守りします!



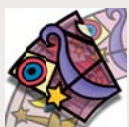
つながる力で、安心と成長を。

広島県共済

広島県共済組合員相談室 ☎0120-708030

(広島県認可)

広島県中小企業共済協同組合
〒730-0048 広島市中区竹屋町4-17
http://www.kyosai.or.jp



射手座生まれ 11月23日～12月21日
丁寧なやりとりを心がけると、
仲間との関係を深めることができます。



山羊座生まれ 12月22日～1月19日
不安を感じたときは、まず情報収集。
一呼吸いれてから行動です。